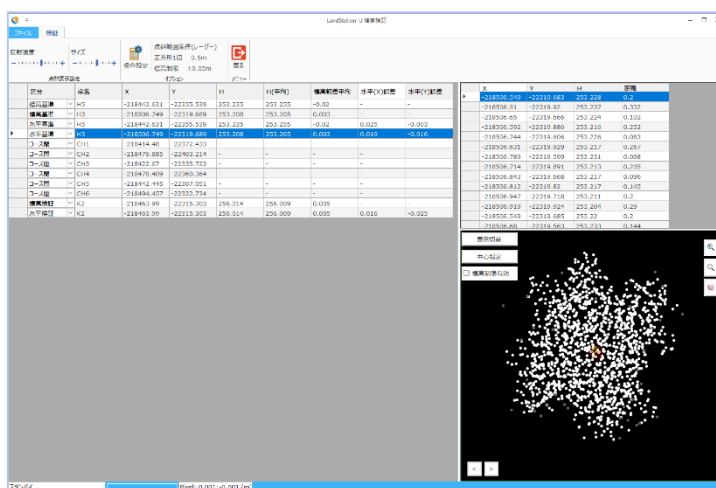
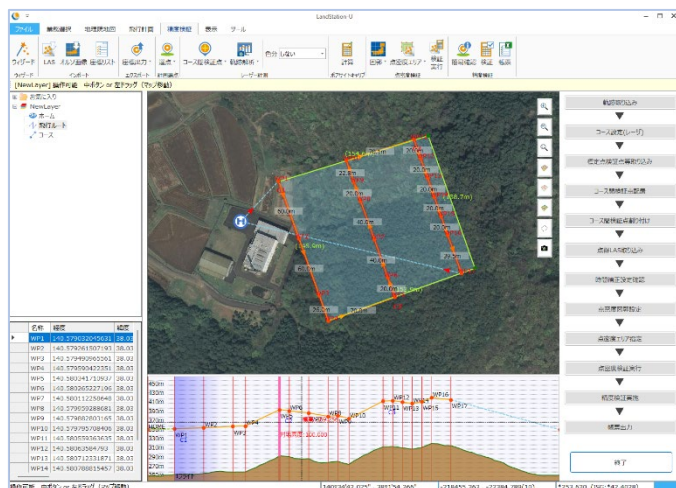


計測業務支援システム



飛行計画
精度検証
帳票作成

写真計測
レーザー計測
LidarSLAM計測



TECHNO SYSTEM

飛行計画

国土地理院の数値標高モデルを自動認識し飛行ルート的高度管理が可能
簡単に諸元の追加登録ができ、様々なドローン・センサーに対応
KMLでの撮影範囲・ウェイポイントのインポートが可能
ウェイポイントにアクションコマンドを設定し、より綿密な飛行計画の作成可能



領域指定により、
自動ルート作成

レーザー計測に必要な
キャリブレーション
飛行設定が可能

Litchi・KML・PILOTへ
エクスポート

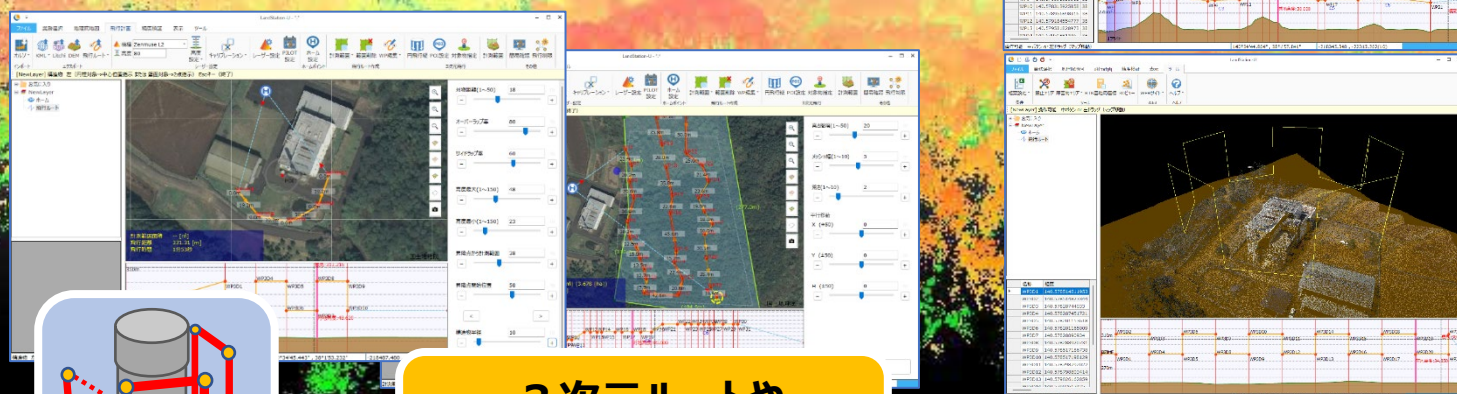
数値標高モデルによる
飛行ルート上の高低管理

3Dビュー機能で
飛行ルート・点群の確認

3次元飛行計画

※ 3次元飛行計画オプション(有償)が必要

構造物の維持管理、煙突等の壁面ひび割れ調査に
山間部の等高線状の飛行計画も作成可能



3次元ルートや
等高線状ルート作成

LandStation-U 精度検証

ファイル 検証

反射強度 サイズ 点群範囲条件(レーザー) 条件設定

点群表示設定 オプション

区分	点名	X	Y	H	H(平均)	標高較差平均	水平(X)誤差	水平(Y)誤差
標準基準	H5	-218442.631	-22355.539	253.235	253.255	-0.02	-	-
				253.208	253.205	0.003	-	-
				253.235	253.255	-0.02	0.024	0.008
				253.208	253.205	0.003	0.012	-0.032
				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
コース間	CH6	-218493.513	-22325.086					
標準検証	K2	-218463.99	-22315.303	256.014	256.009	0.005	-	-
水平検証	K2	-218463.99	-22315.303	256.014	256.009	0.005	-0.035	-0.001

2次元点群による水平誤差確認

表示切替

基準を超えた誤差を 分かりやすく強調表示

2次元点群による 水平誤差確認

**レーザー計測時は
点群にて中心を指示
(周辺点群の 3D ビューも可能)**

LidarSLAM 検証 簡単サポート

ウィザード機能で検証 計測データ登録も簡単

オルソからの水平位置の検出・検証に加え、
点群（LASデータ）による高さの検証（逆距離加重法＜I DW法＞）へ対応
図郭・検証範囲を指定した点密度検証に対応

対応帳票

帳票は、作業規定準則・マニュアルに対応 ※2025年3月31日改定対応



写真計測

- ・飛行計測緒元計画表
- ・UAV 撮影コース別精度管理表
- ・三次元形状復元精度管理表
- ・チェックリスト(精度管理表・データ点検)



LidarSLAM 計測

※SLAM 検証オプション(有償)が必要

- ・調整点明細表
- ・検証点明細表
- 調整用基準点検証精度管理表(標高)
- 調整用基準点検証精度管理表(水平)
- 点検測量結果精度管理表(検証点標高)
- 点検測量結果精度管理表(検証点水平)
- 点密度検証精度管理表



レーザー計測

※UAV レーザーオプション(有償)が必要

- ・ キャリブレーション記録簿
- ・ 飛行計測緒元計画表
- ・ 調整点・検証点明細表
- ・ UAV レーザ計測記録
- ・ GNSS/IMU 解析結果精度管理表
- ・ コース間検証精度管理表
- ・ 調整点点検精度管理表
- ・ オリジナルデータ均一度点検表
- ・ 点密度検証精度管理表
- ・ 点検測量結果精度管理表
- ・ クラウドデータ作成作業精度管理表
- ・ グリッドデータ作成作業精度管理表
- ・ チェックリスト(精度管理表・データ点検)



Land Station-U



最新の

仕様・様式に対応

国土地理院「作業規程の準則」記載
「第3章 UAV 写真点群測量」
「第4章 UAV レーザ測量」
「LidarSLAM 技術を用いた
公共測量マニュアル」に準拠した
精度管理表作成に対応



各種計測

業務に対応



UAV 写真点群測量



UAV レーザ測量



LiderSLAM 計測

(別途 UAV レーザー・SLAM 検証 オプションが必要)

その他 様々な計測業務向け
オプション開発中



対応

フォーマット

KML 出力(GS Pro・DJI PILOT2)
アクションコマンドも登録可能

GS Pro の KML インポートは別途オプションが必要

LitchiCSV 出力
ウェイポイントの位置情報や
カーブ、飛行速度出力

動作環境

- OS Windows11、10 以降 64ビット版 (32ビット版には対応していません)
- 必要ソフトウェア VCテクノロジー Litchi・DJI GS Pro・DJI PILOT2 のいずれか
Microsoft Excel 365 以降 (精度管理表出力機能をご利用の場合)
- ハードウェア CPU Core i9 相当 Xeon 推奨 / メモリ 32GB 以上を推奨
ハードドライブ 500GB 以上 ※SSD 推奨 必要解像度 1920×1080 推奨

※UAV レーザー・SLAM 検証・3 次元飛行計画は、有償オプションです。

※一部機能はインターネットへの接続が必要です。

※本環境は2025年5月時点の物です。

※各OS・ソフトウェア・ハードウェアのサポート期間を経過した環境での動作は保証致しかねます。

開発・販売 **テクノシステム**

本社 〒983-0833 仙台市宮城野区東仙台3-1-45

TEL:022-297-2151 FAX:022-297-2177

ホームページURL <https://www.techno-web.co.jp/>

- 画面・仕様等は予告なく変更される場合があります。また一部実物とは異なります
- 記載されている会社名及び製品名は、それぞれ各社の登録商標、または商標です

ご購入の前に、ご使用になる機器・環境等ご相談下さい。

お問合せ

クウサツ・ドットコム株式会社

〒062-0021

札幌市豊平区月寒西一条10丁目5-72

sales@kuu-satsu.com